



平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 : 株式会社アルファポリス  
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 梶本 雄介  
 (コード番号: 9467 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 : 取締役兼管理本部本部長 大久保 明道  
 (TEL. 03-6277-0123)

**第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績との差異・通期業績予想の修正、  
 及び役員報酬の減額に関するお知らせ**

平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました第 2 四半期 (累計) の業績予想と本日公表いたしました同実績に差異が生じ、また最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 10 日開催の取締役会において、通期の業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。あわせて役員報酬の減額を実施することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

平成 29 年 3 月期 第 2 四半期 (累計) 業績予想と実績との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,681	367	366	228	47.17
今回発表実績 (B)	1,311	79	79	49	10.20
増減額 (B-A)	△369	△287	△287	△179	—
増減率 (%)	△22.0	△78.3	△78.4	△78.4	—
(ご参考) 前期第 2 四半期 (累計)	1,611	469	469	310	64.08

平成 29 年 3 月期 通期業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,700	921	920	573	118.37
今回発表予想 (B)	3,000	151	150	95	19.61
増減額 (B-A)	△700	△770	△770	△478	—
増減率 (%)	△18.9	△83.6	△83.7	△83.4	—
(ご参考) 前期通期 (平成 28 年 3 月期)	3,345	905	904	572	118.18

## 2. 差異及び修正の理由について

### ① 平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）業績予想と実績の差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日） （売上高）

売上高は、当初予想 1,681 百万円から今回実績 1,311 百万円と 369 百万円の減少（増減率△22.0%）となりました。これは以下 4 つの要因により変動したものです。

#### (1) 堅調な電子書籍販売

従来、当社では電子書籍対応には戦略的に静観する方針をとってまいりましたが、電子書籍の市場規模が拡大してきたこと、及び、電子書籍の売上の多くを占める「漫画」ジャンルの強化が進んできたことから、平成 28 年 1 月より、電子書籍対応についても積極的に対応する方針でビジネスを進めてまいりました。

当第 2 四半期累計期間においては、紙書籍の新刊に合わせて、同新刊及びシリーズ既刊本の電子版をリリースする方針で、積極的に電子化を推進してまいりました。

その結果、当初の予想を 25 百万円上回る売上高を実現することができました。

#### (2) 想定以上の『ゲート』関連書籍の返本

『ゲート』TV アニメの放送が平成 27 年 7 月に開始して以降、『ゲート』関連書籍の出荷高は当社の予想を大きく上回る金額で推移いたしました。その結果、前期平成 28 年 3 月期においては、業績の上方修正を行う要因の 1 つにもなりました。

しかしながら、TV アニメの放送が平成 28 年 3 月に終了して以降、当社の想定する以上の返本が当第 2 四半期累計期間において発生いたしました（特に、漫画・文庫）。返本は、当第 2 四半期会計期間に入り、徐々に収束してまいりましたが、当第 2 四半期累計期間においては、当初の予想を 127 百万円上回る返本が発生し、同金額分の売上高が減少いたしました。

#### (3) 『ゲート』を除く紙書籍の販売不振

出版科学研究所によると、平成 28 年上半期（平成 28 年 1 月～同年 6 月）の出版物の推定販売金額は、前年同期比 2.7%減となる 7,701 億円となりました。このように書籍市場が低迷する中で、ライトノベル市場は、成長を続ける数少ない市場となっております。その結果、昨今では新規の参入が相次ぎ、他社から刊行される点数やレーベルともに増加傾向にあり、競争が激しくなっております。

上記により当第 2 四半期累計期間における新刊の刊行点数は堅調に推移いたしました。売上高については当初の予想を 186 百万円下回る結果となりました。

#### (4) ゲーム事業の苦戦

平成 27 年 5 月に自社開発によるゲーム事業の開始を決議して以降、当第 2 四半期会計期間末までにスマホゲーム 5 本、PC ゲーム 1 本をリリースしてまいりました。その間、各ゲームのリリース前の事前登録においては、当社の想定以上のユーザーを集めることができ、当社 IP の持つ力に対して確信を深める場面があると共に、リリース直後のコンテンツ不足や品質に対する問題などの課題も発生いたしました。当社は、それら課題に対して徹底的な原因究明及び改善を加えることで事業として着実に成長させてまいりました。

しかしながら、まだまだ改善すべき点は多く、当第 2 四半期累計期間における売上高については、当初の予想を 81 百万円下回る結果となりました。

(営業利益、経常利益並びに四半期純利益)

営業利益は、当初予想 367 百万円から今回実績 79 百万円と 287 百万円の減少(増減率△78.3%)となりました。また、経常利益については当初予想 366 百万円から今回実績 79 百万円と 287 百万円の減少(増減率△78.4%)、四半期純利益については、当初予想 228 百万円から今回実績 49 百万円と 179 百万円の減少(増減率△78.4%)となりました。

費用については、当初予想時の前提と大きな差異はなく、変動要因は上述の売上高の減少によるものとなっております。

② 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(売上高)

売上高は、当初予想 3,700 百万円から今回予想 3,000 百万円と 700 百万円の減少(増減率△18.9%)を見込んでおります。これは上期の当初予想と今回実績との差額 369 百万円の減少(増減率△22.0%)に加え、上期と同様に、下期においても以下の 3 点については売上高の変動要因として発生することが見込まれることによるものであります。

(1) 堅調な電子書籍販売

当初の予想を 108 百万円上回る売上高が見込まれる。

(2) 紙書籍の販売不振

当初の予想を 228 百万円下回る売上高が見込まれる。

(3) ゲーム事業の苦戦

当初の予想を 211 百万円下回る売上高が見込まれる。

(営業利益、経常利益並びに当期純利益)

営業利益は、当初予想 921 百万円から今回予想 151 百万円と 770 百万円の減少(増減率△83.6%)となる見込みです。これは上述の売上高の低下に加え、主に以下の要因による費用の増加が見込まれるため、売上高の減少幅以上に、利益の低下を見込んでおります。

(1) 書籍の返本拡大に伴い、書籍在庫の評価額が低下することによる評価減を見込む。

(2) 書籍の返本拡大に伴い、返本書籍の受入手数料、及び在庫管理料又は裁断手数料などの手数料増を見込む。

(3) 当社 Web サイト強化に向けた、広告宣伝費及びイベント費などの費用増を見込む。

営業外費用、特別損失については、当初予想時点の前提に大きな変更はなく、特段のコスト発生は見込んでおりません。その結果、経常利益については当初予想 920 百万円から今回予想 150 百万円と 770 百万円の減少(増減率△83.7%)、当期純利益については、当初予想 573 百万円から今回予想 95 百万円と 478 百万円の減少(増減率△83.4%)となる見込みです。

### 3. 役員報酬の減額について

経営陣一同は、この度の業績予想と実績との大幅な差異の発生という結果を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

対象者	内容	対象期間
代表取締役社長	月額役員報酬の70%を減額	平成28年11月から平成29年6月までの8ヶ月間
社外取締役を除く取締役	月額役員報酬の20%を減額	平成28年11月から平成29年6月までの8ヶ月間

### 4. 中期経営計画について

当社は、平成27年5月8日に、平成28年3月期を初年度とする3ケ年の中期経営計画を発表いたしました。成長の基本戦略である「自社IPを活かしたマルチメディア展開」、「インターネットにおけるメディアパワー強化」、「漫画事業の拡大」及び「現出版事業（漫画除く）の更なる強化」について、大きな変更はございませんが、今期平成29年3月期の業績修正の要因となりました、当社を取り巻く外部環境の変化や経営改善に向けた取り組み状況を考慮して、新たに中期経営計画の見直し作業に着手しております。

その内容につきましては、今期通期の決算数値を見極めたうえで発表させて頂く予定です。

(注) 上記の予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上